

新社屋における環境負荷低減（CO₂排出削減）の取組み

地球温暖化を防止するため、2020年10月に政府より2050年脱炭素社会宣言が行われ、2020年12月にグリーン成長戦略が公表されました。この中で、ZEB*の普及推進の必要性が述べられています。

当社は、一般社団法人環境共創イニシアチブが実施する「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）実証事業」におけるZEBプランナーに登録し、ZEBの普及・実現を通して環境負荷低減（CO₂排出削減）に取り組んでまいります。



新社屋イメージパース

*ZEBとは、「先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制やパッシブ技術の採用による自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物」

省エネ建築物のプランニング実績

東京都千代田区九段北に建設中の新社屋において、建築物省エネ法による適合性判定でBEI値0.68の評価を受けました。

建物の外皮性能（外断熱工法、窓、Low-Eガラス等の断熱性能）を高め、高効率でシンプルな設備機器（ビル用マルチエアコン・デシカント空調・全熱交換器・制御付LED照明等）を計画しています。